

# 新森会長勇退へ

## 後任に複数組合長意欲



J A宮崎経済連会長の新森雄吾氏(68)は28日、宮崎日日新聞の取材に応じ、6月末の任期満了に伴い退任することを明らかにした。退任理由について、急速に

進む貿易自由化や新型コロナウイルスの感染拡大に触れ、「さまざまな変化に対応するため次の世代に託したい」と述べた。関係者によると、次期会長には複数のJ A組合長が意欲を示している。

新森氏はJ A都城職員出身で2005年に組合長に就き、14年から現職。2期

6年の任期中には環太平洋連携協定(TPP)や日米貿易協定発効など貿易自由化を受けての農家支援に尽力。高い衛生基準を備えた都農町のミヤチク都農工場を新設し、欧州連合(EU)への宮崎牛輸出を実現させた。

「本県農業を元気にしたい」という思いでやってきた。次期会長には組織一体となって課題に取り組んでほしい」と話した。次期会長となる推薦候補者の立候補届け出は29日まで受け付け、6月1日から県内のJ A組合長7人でつくる役員推薦会議が話し合いて推薦候補者の検討を始める。意見がまとまらなかった場合は7人による投票などにより決める。

次期会長を含むJ Aグループ宮崎の新役員体制は、同月中旬の同グループ理事会で内定。同30日の総会で正式に決定する。

(菅野健太)